

カリキュラムマップ（医療栄養学科：教職関係）

栄養教諭関係(栄養担当)カリキュラム							カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを達成するために ◎ 特に重要な項目 ○ 重要な項目 △ 履修することが望ましい項目				
授業科目名	授業科目のねらい	授業科目の到達目標	単位数 (○印は 必修)	配当 年次	開講区分	レベル (低1～4高)	アクティブラーニング※ の実施について (具体的にお書きください)	知識・理解 (基礎力)	汎用的技能 (思考力・実践力)	態度・志向性 (思考力・実践力)	統合的な学習経験と 創造的思考力(実践力)
生徒指導論	学校教育の場における児童・生徒指導の現状を把握する。	生徒指導に関わる基本理論並びに実践法を学修するとともに、個々の生徒指導の場において必要となる基本事項とスキルについて学修する。併せて、具体事例を基に、児童生徒の抱える課題や生活環境を踏まえ、学校生活や家庭における対応の在り方、教員の態度や望ましい指導についての基本事項について概括する。また、保護者にむけてのアドバイスについて紹介する。	2	3	前期	2		◎	○	○	○
学校栄養教育実習事前事後指導	学校栄養教育実習に向けて、実習準備と、実習後の振り返りを行う。	学校栄養教育論、学校栄養教育実践法を踏まえ、児童生徒に向けての対応・教育法を振り返り、実習準備を整える。実習後は、実習における栄養教育や生徒指導について振り返り、よかった点よくなかった点を整理し、小中学生に向けての栄養教育法を整理し、自分なりの学校栄養教育法をまとめるプロセスを学修する。	1	4	通年	3	プレゼンテーション	○	○	◎	◎
学校栄養教育論	学校教育における「食に関する指導」を担う、栄養教諭の職務内容や使命・役割を理解することを目的とする。	国民栄養の現状と課題を踏まえ、児童生徒の身体的特徴と食生活の現状から健康に関わる食生活課題について理解する。さらに、栄養教諭の考える「食に関する指導」並びに「学校給食の意義と役割・現状と課題」についても理解を深めて、教科学習における「食に関する指導」の企画、及び授業案作成の方法論を学修する。	2	3	前期	2		◎	○	○	○
学校栄養教育実践法	発育発達のみぎましい児童生徒を対象とし、健康的な食習慣形成をめざす小中学校における「食に関する指導」の実践法を修得することを目的とする。	こころとからだを育む健康的な食生活管理の重要性を理解し、各教科や総合的な学修の時間、特別活動など校内における多様な場面での食に関する指導とその評価についての実践法を修得する。また、対象児童の学校給食や食行動に気づき、具体的かつ実行可能な行動目標を設定し、教科学習における食に関する指導の実際を学修する。	2	3	後期	3	プレゼンテーション	○	○	◎	◎
学校栄養教育実習	各実習校において、栄養教諭一種免許状取得にかかる実習指導計画に従い、学校経営、教育課程の編成、学年・学級経営、食に関する指導、道徳教育、特別支援教育、特別活動、生徒指導をはじめ、教師の職務、様々な課題教育等に対する小学校または中学校における教育活動全般にわたっての理解を深める。	配属された実習校において、所属学級・食に関する指導を中心に学習指導等の指導を受け、実習生自身も授業実践を行い、児童(小学校)または生徒(中学校)への教育に対する理解と指導力を高める。	1	4	通年		教育実習がより効果的なアクティブラーニングであるよう、毎日自分の経験を振り返らせる。また、大学の学びと当該校での学びを往還させる。	○	○	◎	◎
教職実践演習(栄養教諭)	栄養教諭として必要な知識や技能の修得を確認するとともに、今後のさらなる資質向上のために、これまでの学習を振り返り、不足している事項がある場合には、その内容を補う。	1. 栄養教諭としての使命感、責任感、児童生徒への教育的愛情を修得、醸成する。 2. 社会性や対人関係能力を修得する。 3. 学校給食と栄養指導についての知識、技能を身につけている。 4. 食に関するさまざまな課題に対する判断力を修得する。	2	4	後期		教育実習等で気づいた課題、今後自分に必要となる能力を発表し合い、複数グループでそれぞれについて討論を行う。	○	◎	◎	◎